

平成 24 年度 第 6 回

日南市教育委員会

議事録

平成 24 年 8 月 29 日(水)、午後 2 時 30 分から午後 5 時まで
日南市役所・市長応接室

- 1 会議の名称 平成 24 年度教育委員会 第 6 回会議（定例）
- 2 会議日時 平成 24 年 8 月 29 日(水)、午後 2 時 30 分から
- 3 出欠確認
 - (1) 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 八木真紀子 安野喜宏
欠席委員 松野蓮香
 - (2) 事務局 教育次長 村角昌宏
学校教育課長 水元洋一
学校教育課教育専門対策監 河野好宏
学校教育課長補佐兼管理係長 中川貴登
文化生涯学習課長 岡本武憲
スポーツ推進課長 橋本寛敏
- 4 場所 日南市役所・市長応接室
- 5 開会
【迫元委員長】
「こんにちは、
ただいまから平成 24 年度第 6 回教育委員会・定例会を開会いたします。
よろしくお願いします。」
- 6 出席者及び傍聴者確認
【迫元委員長】
「会次第 2 番、出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 4 名の
出席で、1 名欠席となっています。（傍聴者なし）」
【村角教育次長】
「本日は、全員出席となっております。」

7 教育委員長活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 7月27日、県・市の共同募金委員会の第1回運営委員会がありました。23年度の実績及び24年度事業計画並びに予算案が諮られました。24年度の一般募金目標額は、1,360万円です。
 - ② 7月31日に、市人権啓発推進協議会総会に副委員長として出席しました。人権教育問題は、市民みんなの問題であり、各機関全体で実践することが大切と感じました。「部落差別からの解放」について宮崎公立大学蔵坪先生の講演がありました。人権とは、自他に対する優しさと感じました。
 - ③ 8月6日、県・市共同募金委員会の第1回審査委員会に審査副委員長として出席しました。助成団体への募金配分及び活動について審査するものです。
 - ④ 8月20日、市社会福祉協議会第2回評議員会に出席しました。議案は、職員の服務（勤務）及び補正予算、報告等でした。
 - ⑤ 8月22日、未来へつなぐ子ども議会が開催されました。27人の児童・生徒が登壇。新鮮な感覚と子どもなりに将来の日南市のことについて、考えているものと感じました。
 - ⑥ 8月23日、南那珂育英会が開催されました。今回は、公益法人移行に係る定款・人事体制等について審議されました。
 - ⑦ 8月24日～27日、市の共同募金会審査委員会事務局会議に出席しました。募金配分案の素案を作成しました。
 - ⑧ 8月28日、第31回小村寿太郎侯顕彰弁論大会に審査員として出席しました。「国際連合」をテーマに県内高校生10人が参加。日南高校、福島高校、日南学園から各1名が参加しました。最優秀賞には宮崎西高校の1年生が選ばれました。
- 以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【安野教育長】

- ① 7月23日、市青少年育成市民会議役員会の開会式で挨拶を行いました。関係機関との協力・連携が青少年育成には欠かせないと思います。
- ② 7月25日、評価制度ミーティングに参加しました。本年度のビジョンに基づいて運営がなされているか校長からの聞き取りを行ったところでした。
- ③ 7月25日、市文化財審議会での挨拶を行いました。
- ④ 7月25、26日、九州地区市町村文化財保存整備協議会総会が、大分県豊後高田市で開催されました。会員は約100名。文化生涯課代田職員と2名で参加。来年度は日南市で開催予定です。教育委員会の協力をよろしくお願いします。
- ⑤ 北郷小中学校のALT委託業者「インタラック」の訪問がありました。

- ⑥ ALT辞令交付式
- ⑦ 8月2、3日、市町村教育長連絡協議会に参加しました。年一回の開催です。
- ⑧ 8月6日、退職校長会より「振徳教育 in 日南」の協力依頼がありました。
- ⑨ 8月6日、深川議員が来室。御当地アイドルについての報告がありました。
- ⑩ 8月9日、県教育改革推進協議会に参加しました。内容は地震津波に対する防災対策が主なものでした。
- ⑪ 8月10日、県剣道連盟日南支部の役員中島氏と福岡議員来室。武道必修の現状と剣道振興の協力依頼に来庁。
- ⑫ 8月17日、七つ八重陸上が全国大会に出場した報告を市長へ。200m走と走り高飛びに出場した。
- ⑬ 8月21日、県コンプライアンス推進協議会に出席しました。教職員免職処分については、公表を行っていましたが、被害者が特定できる場合については伏せておりました。今後は停職6ヶ月の場合も公表することで検討しています。指導者としての認識を深めて欲しい。
- ⑭ 8月26日、総合防災訓練に参加しました。日頃の備えあれば憂いなし。日頃からの準備が大切です。当日は、大藤地区の子どもたちが参加しました。
- ⑮ 8月26日、スポーツ推進委員研修がありました。資質向上に取り組まれました。
- ⑯ 8月28日、第31回小村寿太郎侯顕彰弁論大会に出席しました。昨年から地元高校生が大会出場できるレベルになりました。今後、さらなる向上に期待します。
- ⑰ 本日、午前中に校長会が開催されました。

文化生涯学習課長より市文化財審議会について説明。国の伝統重要文化的景観に坂元棚田を申請する運びになっています。飢肥の歴史的風致向上計画で飯田医院等について検討中です。本年は、アカウミガメ最多の上陸頭数になっています。

8 議題について

議題1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(事務局提案 中川)	毎年実施している「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」についてです。 平成22年度、23年度と外部有識者の意見として、外部者でも分かりやすい評価シートにするため、評価の数値化が求められています。(5・6頁参照) よって、今回から5段階評価による数値化を図り、より分かりやすい報告書に改善したいと思います。(詳細については、7～10頁に沿って説明) 具体的な手法及びシート1の評価内容についてお諮りいただきたいと思います。
(委員長)	「それでは、1点ずつ整理したいと思います。 まず、22年度、23年度の外部学識経験者の意見に沿って評価の数値化について、今年度から取り入れることでよろしいでしょうか。」
	(全員了承)
(藤田委員)	「次に、評価の方法で、5つの項目について、それぞれ5段階評価するという提案についてご意見ご質問はありませんか。」 他の市町村でこのような評価方法をとっているところはあるか。
(中川)	ありません。重要度と実行度を基に作成しているところはありませんが、数値化しているところは在りません。
(藤田委員)	3点が平均点ですか。また、評価項目の「重要性」についての説明が分かりにくいのですが。重要性とは評価基準ではなく、事業の位置づけ的な性質かも知れませんね。
(中川)	一般的に3が平均ですが、市民の満足度は4以上を想定しています。「重要性」については、法的根拠等に基づき必ずやるべき事業

(委員長)	としております。 それでは、まず、重要性について評価項目として適正かご意見を伺います。
(藤田委員)	外部者にとっては事業の重要性が分かりやすいので、評価項目として残して、説明を工夫してはどうでしょうか。
(教育長)	事業継続の判断基準としても、評価項目として必要だと思います。
(委員長)	それでは、説明内容について、再度、検討をお願いします。
(事務局)	了解しました。また、今年度も河原教授に御意見を伺う予定です。アドバイスをいただき検討します。
(委員長)	レーダーチャート・様式等については、いかがでしょうか 全員了承 以下、シート 1 の内容について、項目ごとに確認。(別紙資料参照)

議題 2 学力向上の事業取組み

(事務局説明 河野対策監)	学力調査 学力向上のためには現状を知る必要があります。そのために、学力調査を実施しています。P24 をご覧ください。学力調査の関係図です。国による学力調査は小学 6 年と中学 3 年で実施されています。県による学力調査は小学 5 年と中学 2 年で実施されています。これらの国と県の学力調査の間を埋めるかたちで、日南市は小学 4 年と中学 1 年学力調査を実施しています。(小学 4 年から中学 3 年までが連携する。) 年間計画 これらを年間ベースに落としたのが P23 の資料になります。 前年の状況(学力調査結果等)を踏まえて 4 月に学校と教職員の改善計画を作成します。(全国学力調査の実施) そして、5 月には校長と教員による目標設定ミーティング(評価
------------------	---

制度)を実施し、各改善計画の取組み状況・指導を行います。

8月に再度、中間ミーティングを実施し、チェックし対応策を検討します。そして12月に最終的にフィードバック面談を実施し結果が出てきます。

フェニックスプラン事業

学力調査の結果を分析し教員の資質向上に生かすためのものです。調査の結果、日南市は応用力に課題がある事が分かりました。

そこで今年度は、国語の応用力向上のために、京都女子大学の井上一郎教授と算数に国立教育政策研究所の銀島氏を講師に資質向上の研修指導を行っております。

基礎学力アップ推進事業

フェニックスプラン事業で教員の資質向上に取組み、それを授業にどう反映させるかを先進的に研究する事業です。

油津小学校と吾田東小学校を推進校として、1年目に研究、2年目に研究授業公開し、成果を市内の学校へ浸透してゆきます。

振徳塾で学力アップ日南学力アップ支援事業

さらに人的支援による、学力向上支援事業です。

小学校5校に教科担任に係る非常勤講師と複式解消のための非常勤講師を配置しています。

以上のような取組みにおいて、日南市の学力向上に取り組んでいます。

(委員長)

それでは各委員、御質問、御意見はありませんか。

学校訪問した際に、改善計画の活用が定着し、実態をもとに力点が表記されていました。とても良いことと感じました。

(教育長)

教科担任制の補足説明

小学校の教科担任制については、きめ細かな学習支援と基礎学力向上、さらには中学校へのスムーズな接続、いわゆる中1ギャップの解消にも効果が有ります。

(藤田委員)

非常勤講師について

非常勤講師とは市が教科専門教師として雇用しているのですか。

(河野対策監)

はい、その通りです。県の取扱いでは非常勤講師となりますが、常勤講師と御理解ください。

(八木)	人的支援と基礎学力アップ推進事業について 人的支援は他市と比べ充実しているように思いますがどうですか。また、基礎学力アップ推進事業では中学校は対象ではないのですか。
(教育長)	これほど人的支援が充実している市は県内ではありません。
(河野対策監)	基礎学力アップ推進事業のモデル校は中学校も対象です。ただし、現在、対象校の地域バランスの調整時期になっているため、小学校のみとなっています。来年度は中学校も対象予定です。
(八木)	公開授業について 基礎学力アップ推進事業の公開授業に参加しましたが、大変参加者が多くて見るのが困難でした。改善をお願いします。
(河野対策監)	昨年の反省点として挙げられております。検討していきたいと思えます。
(教育長)	費用対効果について このように日南市は、教育費に手厚い予算措置がされています。今後は、費用対効果も意識すべきと学校に対して指導しています。
(委員長)	日南スタンダードモデルについて 今年度、教育研究所での資質向上の取組みがされているようですが。
(河野対策監)	はい、日南スタンダード授業のモデルを研究しています。

9 その他

(1) 9月行事予定について

別紙参照

(2) 第7回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 平成24年9月28日(金)、午前10時から
- ② 場所 教育支援センター2階会議室

10 閉会